



総務文教

「指定管理者の選定状況は」

■1月18日開催

総務グループより

・報告事項
公平委員会の共同設置に向けて、加古川市と事務を進めている。3月定例会に共同設置に係る規約を下程。

指定管理者の選定状況
選定委員会の構成は、
商工会副会長、短大助教

授、税理士、町職員4人。

導入へのスケジュールは、公募を行った5施設の選定は終了。他も了承されている。臨時会で上程。

教育委員会事務局より
・校園区審議会の審議状況
・校園区審議会へ古田東自治会を「3校区」、大中東自治会を「2校区」という案で諮問した。しかし、古



▲4月から指定管理者の運営になった播磨町立図書館

田東自治会より「古田東自治会全体を同一校区とすること。通学の安全に万全の対策を講じること。」という要望書が提出された。審議会では、要望を尊重すべきという意見が多く、その方向で答申がなされる模様。

2月に3回目の審議会を開催し、3月に答申を受け、その後、教育委員会で決定。在校生には「配慮をする」と言われているようだが、

弾力的運用として要望に応えられるよう配慮する。県との関わりは、例年の事務の流れの中で行う。最終的な確定は次年度19年の5月。

今後の予定は、校園区審議会の答申が出れば、それ以降、行き先の学校を決定しなければならぬが、弾力的な運用を生かした場合は個々の意見を聞き、10月の前半には校区を決定する。

・学校施設のアスベスト材含有調査結果について12月20日に分析結果、1月5日に測定結果が出た。1%を含有する箇所については、大気中の浮遊石綿濃

度を測定し、安全を確認。飛散の恐れはないので、緊急の除去工事は予定していない。解体、補修時に対応。浮遊調査は学期ごとに実施。

■2月10日開催

企画グループより

・公聴事業について
「住民の声」をもっと行政内で審議すべきでは。

日常生活に密着した問題は現地解決型の進め方が必要。「ミゼン」なども行政改革の取り組み

一定の成果と基準とは。「定員管理の適正化」「指定管理者制度などによる民間委託の推進」など。経済的な面が大きな指標。

教育委員会事務局より
・幼小一貫教育について
全町の取り組みは、

播磨西幼稚園と西小学校とは、モデル的な実践。幼稚園と保育園、在宅との連携も進めていく。その他、情報教育、中学校附農事の説明を受ける。

民生生活

「各種事業の進行状況は」

■1月20日開催

住民グループより

住居表示整備事業においてクレームはあったのか。1件も聞いていない。

住居表示の名称は、歴史的背景を考え実施を。大多数の住民の理解は得にくい。大字名の上「東西南北」を付けたい。

なくす検討が必要では。他市町にない特長的なプログラムを作りたい。

健康安全グループより
自転車駐輪場へのクレームは聞いていないか。一時預かりがいっぱいですが、今後現場の担当者への指導を図りたい。

がん検診の受診率向上への対策は、自治会での回覧や、個別

通知も実施している。

蓮池保育園の民間移管後の臨時、パート保育士の採用状況は。

現在勤務中の保育士10人が採用予定。

優先順位はない。緊急度の高い人から入所できるシステムが構築された。

■2月13日開催

JR土山駅南側開発に關連する商工業振興補助金に

ついて、説明を受ける。商工会は計画にそって進めているのか。

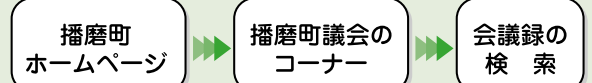
町広報で住民に周知し、約2年が経過。計画は住民の意見を集約したもので、主な内容としては、

「はじま複合交流センター」東播磨3市2町の広域行政窓口サービス事業
・商工会の事務所
・警察官立寄り所 など

「緑の駐車場」公共施設として整備した場合、新しい施設との共用が必要であると検討中。

ご家庭で、議会の会議録がご覧になれます。

本年4月から議会の会議録を、インターネットで自由にご覧いただけます。次のように町のホームページから順次お進みください。



◎見たい会議録を、「会議の期日」「発言者・答弁者」「ことば」などから検索することができます。
◎一部、会議録の作成の都合から若干遅くなることがありますのでご注意ください。また、ご覧いただけるのは、「本会議」「予算特別委員会」「決算特別委員会」の会議録です。

建設水道

「新規事業の進行状況について」

■1月24日開催

下水道グループより

下水道の整備がされているのは古宮地区だけか。

古宮地区のほか、土山駅前、本庄東自治会の公民館の周辺、北池の辺りが残っている。

今後はどのように考えているのか。

古宮の区画整理予定地については、下水道は早期に整備したい。設計が完了したら、19年度から浜幹線に影響のないところから工事に着手したい。駅前については、土山駅

地区の整備の中で進めていきたい。

水道グループより
浄水場において何か問題はないか。

特に大きな問題は生じていない。将来の地震に備え制震的な事業を行なっていきたい。

土木グループより
水田川上流の改修状況は、

県道の幅員が大きくないので、水田川の拡幅に要する工区割りが少し変わってきている。全体の工事としては、浜幹線から新幹線までが、一体とな

るようである。

都市計画グループより

テルペンの跡地利用は100%の整備ではないと聞くが、その内容は。

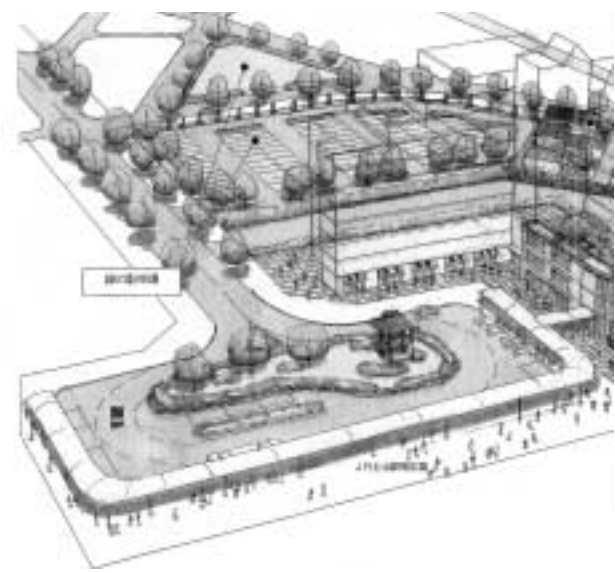
現在、商工会がまちの活性化を考えている。「公共施設」「商業施設」「みどりの駐車場」というもので、スペース的には空間が多くなる。そういう部分は、後年必要が出てきた段階で整備していく。

現在の調査内容は町域だけだが、会議には加古川市、明石市も参加。あくまでも地元が主体で、町が援助する形で整備計画を作成した。

今後の地元との協力は、県の派遣事業をどう使うか地元の協議会と話めてはいない。もう少し合意形成が必要であると思う。

■2月16日開催

町内の工事箇所を視察。



▲土山駅南に整備予定の「緑の駐車場」